

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	珠 洲 市 立 飯 田 小 学 校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	11
児童数	28	17	27	21	27	23	0	143	

研究の概要

1. 研究主題

主題	進んで探求し，豊かに学び合う子 ～ 一人一人のよさを生かした きめ細かな指導をとおして ～
----	--

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

実施学年・教科	2年・算数，3年・算数，4年・算数，5年・算数，6年・算数。
選択理由	・年齢による発達段階を追った授業方法の研究や，習熟度の追跡ができて一層きめ細かな指導の工夫ができること。 ・児童の理解の状況に差がしやすい教科であり，習熟度に応じた指導に適している教科であること。更に，有力な評価方法の1つとしての数値化による研究に取り組むため。

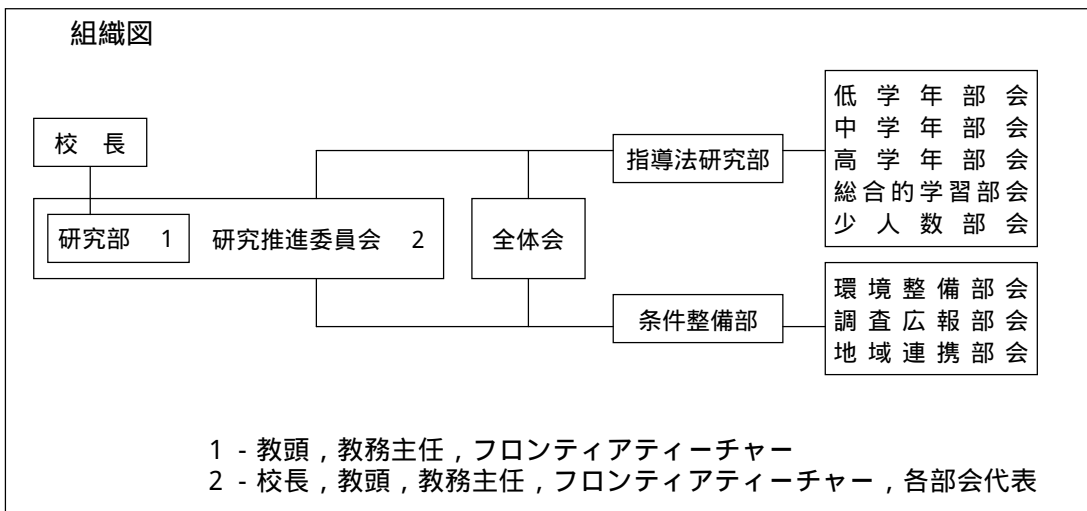
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 進んで探求し，豊かに学び合う子 ～ 一人一人のよさを生かした きめ細かな指導をとおして ～</p> <p>研究の見通し</p> <p>仮説1 一人一人に応じたきめ細かな学習指導の工夫を行なうことによって基礎基本が身につく。</p> <p>仮説2 互いのよさを生かして，かかわりあいを重視する学習活動を支援していけば，進んで探求し，豊かに学び合う子が育つ。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p><内 容></p> <p>理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導 児童一人一人の程度に応じたきめ細かな指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法や支援の在り方 (算数科を中心とした評価の数値化) (診断，形成，総括段階，自己達成度及び授業評価・分析) (評価規準を一覧にした座席補助簿を活用した個の実態把握) ・指導方法や指導体制の工夫(習熟度別コース編成及びかがやきタイムの特設)(少人数指導・TT指導) ・基礎基本の充実(朝のスキルタイム，朝・昼の読書タイムの実施) ・個に応じた教材や学習材の工夫，開発(算数科を中心に) <p>学習意欲を高め，児童自ら探求し深め合う学習につなげる授業設計の工夫や改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動における関わり合う学習の工夫 (話し合い学習の仕方とルールづくりおよび指導) ・IT機器の活用や具体的操作活動を通した，分かる楽しい授業の工夫 (パソコンの活用等) ・教科で身につけた基礎学力を，発展的及び総合的学習に生かす工夫 (教科と総合的学習の関連を明確にした年間学習計画の作成) <p>教科担任制の導入 複数教師が関わられる体制づくり(TT指導の工夫) 教師の得意分野を生かした指導ができる教育課程や時間割等の工夫</p>
--------	---

平成 15 年度	<p><方 法> 理論研究 文献研究を通し，確かな学力や習熟度別学習についての理論を深める。習熟度別学習や算数科を中心にした指導法についての先進校を視察し，その実践について学び，理論を深める。かつ校内研修において，伝達等をもち広める。 実践研究 研究の主題や見通し等に即した実践を積み重ね，毎週火曜日に校内研修会，水曜日に児童理解の時間をもち，実践交流し研究を深める。</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 進んで探求し，豊かに学び合う子 ～一人一人のよさを生かした きめ細かな指導をとおして～</p> <p>研究の見通し 仮説1 一人一人に応じたきめ細かな学習指導の工夫を行なうことによって基礎基本が身につく。 仮説2 互いのよさを生かして，かかわりあいを重視する学習活動を支援していけば，進んで探求し，豊かに学び合う子が育つ。</p> <p>研究の内容・方法 <内 容> 理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導 児童一人一人の程度に応じたきめ細かな指導 ・評価方法や支援の在り方 (算数科における評価の数値化と，期限付き重点目標達成のとりくみ) ・指導方法や指導体制の工夫 (習熟度を考慮したコース別学習の改善と充実) ・基礎基本の充実 (朝のスキルタイム，朝・昼の読書タイムの実施) ・個に応じた教材や学習材の工夫，開発 学習意欲を高め，児童自ら探求し深め合う学習に繋げる授業設計の工夫や改善 ・コミュニケーション活動における関わり合う学習の工夫 (互いのよさを認め乍ら意見交流をし，考えを深め，広める～学習方法・形態) ・IT機器の活用や具体的操作活動を通した分かる楽しい授業の工夫 ・教科で身につけた基礎学力を，発展的及び総合的学習に生かす工夫 教科担任制の導入 複数教師が関わられる体制づくり 教師の得意分野を生かした指導ができる教育課程や時間割等の工夫</p> <p><方 法> 理論研究 実践研究</p> <p style="text-align: right;">(変更部分は，実践の充実化に努める重点事項である) (削除部分は，昨年度内容を継続する個所である)</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



運 営

- < 研究推進委員会 > 随時開催する
 - 研究の推進，計画と立案，理論の研究・構築等，調整，渉外
 - 先進校視察の伝達講習，資料の配布，文献の整理など
 - 研究の理論編（構想）作成
- < 全 体 会 > 毎月数回の割りで開催する（主として第1木曜）
 - 研究内容・方法の共通理解等
 - 指導案の検討，授業の反省と改善策，情報交歓等
- < 指導法研究部 > 各部会で随時開催する（主として第2木曜）
 - 年間計画立案と実践
 - 学力向上推進事業～学校教育目標の実現のための手だて・とりくみ
 - ・ 基本的な生活習慣に関すること （健康への力）
 - ・ 学習への態度に関すること （学習への力）
 - ・ 主として算数科の成績に関すること （確かな学力）
 - 習熟度別少人数指導の推進と評価の研究
 - ・ 算数科を主とした評価の数値化
 - ・ 習熟度別指導法の工夫・改善
- < 条 件 整 備 部 > 各部会で随時開催する（主として第2木曜）
 - 確かな学力にかかわる児童の実態調査
 - 習熟度別少人数指導に関する児童の意識調査
 - 保護者による飯田小学校評価
 - 職員による飯田小学校評価
 - 期限付「教育行動計画書（マニフェスト）」作成
 - 指導案，研究資料，写真等の管理
 - 校舎内外の学習環境づくり
 - 研究の報告書作成に関する「資料編」作成
 - 飯田小学校ホームページでの研究情報発信

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導
 児童一人一人の程度に応じたきめ細かな指導
 2～6年の算数科では少人数・習熟度別学習，1年生ではTTを行い，とり扱う内容に応じて「チャレンジ」「着実」の2つのコースで学習を行った。
 チャレンジコースは評価規準Aの子を中心とし，発展的内容を取り扱った。着実コースは評価規準Bの子がAに近づくことをめざした。

- ・ 単元毎に，レディネステスト等を実施し，児童の希望を中心としたコース選択を行った。その結果，算数に関するアンケートによりコース選択が適切であったとする児童は，全体で1学期74%，2学期78%であった。さらに，コース別で学習することを肯定的に考える児童は全体で1学期80%，2学期83%であった。
- ・ 授業改善を図るために，4観点の現状の点数等をもとに単元を通した「到達目標と検証の指標」を明示し，教師の側に明確な努力目標を設けた。さらに，単元内で2回の小テストを実施し形成的評価を行った。その結果，どの学年の平均点も，1、2学期の4観点（表現処理，知識理解，数学的な考え方）ごとの期持平均点をほぼクリアすることができた。

		総得点の平均			数学的な考え方			表現・処理			知識・理解		
		学級	期待	比	学級	期待	比	学級	期待	比	学級	期待	比
1年	1学期	140.3	123.4	Δ	45.4	40.2	Δ	48.1	41.2	Δ	48.4	42.6	Δ
	2学期	143.6	130.6	Δ	46.6	42.3	Δ	48.3	44.3	Δ	49.0	44.0	Δ
2年	1学期	125.7	123.7	Δ	37.9	39.8	▼	41.8	41.6	Δ	43.7	42.0	Δ
	2学期	123.2	125.0	▼	36.7	40.0	▼	44.0	43.0	Δ	48.5	42.5	Δ
3年	1学期	137.5	128.3	Δ	45.2	42.0	Δ	47.8	43.5	Δ	46.0	43.2	Δ
	2学期	136.5	125.6	Δ	44.3	40.4	Δ	44.0	42.0	Δ	45.7	42.8	Δ
4年	1学期	128.1	125.6	Δ	40.6	40.3	Δ	44.2	42.0	Δ	42.9	43.4	▼
	2学期	128.6	126.6	Δ	40.5	41.2	▼	43.4	41.4	Δ	45.3	43.0	Δ
5年	1学期	141.1	121.1	Δ	45.5	40.7	Δ	48.1	40.3	Δ	46.7	40.2	Δ
	2学期	133.2	121.5	Δ	40.2	40.0	Δ	46.6	39.8	Δ	46.2	41.5	Δ
6年	1学期	118.6	123.4	▼	40.2	40.8	▼	35.1	41.4	▼	43.2	41.6	Δ
	2学期	130.6	123.2	Δ	41.2	40.2	Δ	44.9	41.4	Δ	45.9	41.8	Δ

- ・学級毎の個人データ - が保存されるように、エクセルを利用したシートを作成した。単元、観点、領域ごとに、また、年度毎の比較データをとることができるようになり、一人一人の達成度を蓄積、グラフ処理を行えるようになった。また、4 観点毎の総括的評価点数を表示しやすくすることで、評価規準をもとにした評価、評定がしやすくなった。
 - ・主に「表現処理」の習熟をねらいとして、金曜の朝に10分間「スキルタイム」を設けた。問題を解くことの習熟を図るために有効である。
- 学習意欲を高め、児童自ら探求し深め合う学習につなげる授業設計の工夫や改善
- ・算数に関するアンケートをもとに「到達目標と検証の指標」を設定し、単元展開を図った。授業内容がわかりやすいとする子が全体で1学期70%から2学期82%と増加した。
 - ・コース学習、TT学習で効果があったとされる具体物、授業展開、学習内容を各学年ごとにまとめ、今後の授業に生かせるように一覧表を作成した。

教科担任制の導入

複数教師が関わる体制づくり（TT指導の工夫）

- ・1年の算数科、生活科（5、6年生の総合の時間、2～6年生の算数科の学習に応じて）実施した。2人の教師の役割・動き方を事前の打ち合わせで確認しつつ進めた結果、よりきめ細やかな指導、学習内容の充実が図れた。

教師の得意分野を生かした指導ができる教育課程や時間割等の工夫

- ・理科、音楽での実践に取り組んだ。環境問題、地域の活動に参加する等、総合的な学習や各種行事等への学びにつながった。

2. 今後の課題

理解や習熟の程度に応じたきめ細かな指導

児童一人一人の程度に応じたきめ細かな指導

- ・コース選択（着実コース、チャレンジコース）について
 - a. 県の基礎学力調査の通過率と本校の達成率との比較・分析。
 - b. コース分け時の教師の関わり度。
 - c. コースの人数配分の仕方。

学習意欲を高め、児童自ら探求し深め合う学習につなげる授業設計の工夫や改善

- ・「教育行動計画書」の改定(平成16年度版)
- ・算数科を中心にして学力を高める

算数に関するアンケートでは、学期が進むにつれて少人数授業に関する肯定的な回答は多くみられるが、その反面、算数が好きになったかという項目は全体で5%下がっている。学習進度にともなって内容が難しくなっていることが主たる要因となっていると思われる。改善策として、

 - a. 個に応じた教材や教具で「分かり易い」とか「おもしろい」とか「やりがいがある」などの教具の開発や工夫が必要である。
 - b. 到達度の数値を上げる～期限付「達成目標」と「検証の指標」
 - c. 習熟度別少人数学習指導やTT指導の工夫や改善をする。
 - d. 基礎学力の向上～スキルタイムを通して計算処理能力を高める。
 - e. 関わり合いを重視したより良い学習方法や形態を工夫する。
- ・基本的な生活習慣の確立に向けて
 - a. 「欠食(朝食を食べてこない)」や「個食」をする児童に対する指導。
 - b. 「言葉づかいが悪い」や「友だちへの嫌がらせをする」児童に対する指導。
- ・学習への態度を高める
 - a. 「自分の考えを伝えようとする」と「話し合ったり、考え合ったりする」の数値を高める。

教科担任制の導入

複数教師が関わる体制づくり（TT指導の工夫）の充実

教師の得意分野を生かした指導ができる教育課程や時間割等の工夫

飯田地区のフロンティア小中高をつなぎ、地域の子どもを地域で育て、確かな学力の向上をめざすと取り組み

学力等把握のための学校としての取組

単元毎の総括テストと県の学力調査の通過率との比較，読み取り算数に関するアンケート（学期末に1回）
 少人数授業への期待度，評価，コース選択，T Tについて調査。
 学習状況に関する自己点検・自己評価（学期に1回）
 授業，学習への構えについての意識調査。
 基本的な生活習慣に関する調査（学期に1回）
 学力・学習力を，全人的な成長がともなう中で確かなものにしたいということで実施。起床時間，食生活，個食状況，睡眠時間を1ヶ月にわたり調査。
 保護者による学校評価アンケート（12月，6月）
 教育方針，連絡，教職員，授業，生徒指導等について保護者の意識を全家庭を対象に調査。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

教育講演会の開催 5月26日（月）
 講師 金沢大学教育学部 諸岡教授
 参加者 保護者43名，市内外教員5名，学校教職員
 公開授業の開催 9月25日（木）
 4年算数科（少人数習熟度別）
 参加者 指導主事4名，市内外教員23名
 校外への発信
 学校だより「うめの里」の発行（毎月一回カラー）
 「教育行動計画書18の約束（教育マニフェスト）」の発行，全戸配布。
 ホームページでの掲載と更新
 行動計画書を12月25日にホームページにアップして以来，それまで1日平均3件だった訪問数が，10件に増加した。

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | |
|----------------------|--|---|--|
| 【新規校・継続校】 | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 | |
| 【学校規模】 | <input checked="" type="checkbox"/> 6学級以下
13～18学級
25学級以上 | 7～12学級
19～24学級 | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導
<input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制 | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導
その他 | |
| 【研究教科】 | 国語
生活
体育 | 社会
音楽
その他 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数
図画工作
理科
家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 | 無 | |